

# 2011年3月期 第1四半期決算補足資料



2010年7月30日  
株式会社トプコン

1. 2011年3月期通期業績見込
2. 四半期別業績推移
3. 「営業利益」増減益要因分析(前年同期比)
4. 成長戦略の進捗状況
5. 事業構造改革の推進
6. 半期別業績推移

# 1. 2011年3月期通期業績見込

(単位:百万円)

[連 結]		2010年3月期			2011年3月期					
		第1四半期	第2四半期 累 計	通期	第1四半期		第2四半期累計		通期	
		実績	実績	実績	実績	前 年 同期比 (%)	見込	前 年 同期比 (%)	見込	前年度比 (%)
売上高		20,112	43,338	94,862	21,950	109.1%	48,000	110.8%	104,000	109.6%
営業利益		△1,858	△1,836	1,405	△1,584	-%	0	-%	2,700	192.2%
経常利益		△1,990	△2,364	545	△2,205	-%	△600	-%	1,400	256.8%
当期(四半期)純利益		△1,816	△2,369	133	△1,578	-%	△900	-%	200	149.5%
ROE				0.3%					0.5%	
配当			2 円	4 円			2 円		4 円	
為 替 換算レート (期中平均)	US\$	97.13 円	95.27 円	93.04 円	91.73 円		90.99 円		90.53 円	
	EUR	132.55 円	132.73 円	130.62 円	117.35 円		114.20 円		112.26 円	

\* 2010年7月以降の為替レートは90円/ドル、110円/ユーロを前提としております。

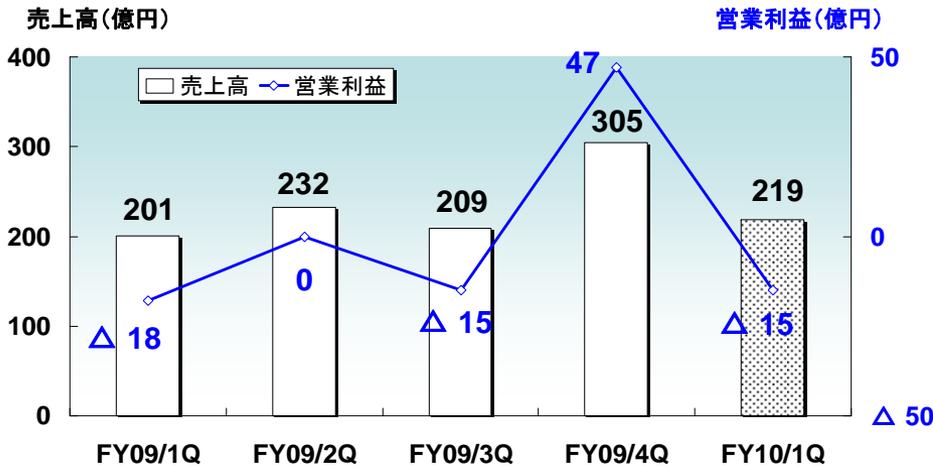
# 1. 2011年3月期セグメント別業績見込

(単位:百万円)

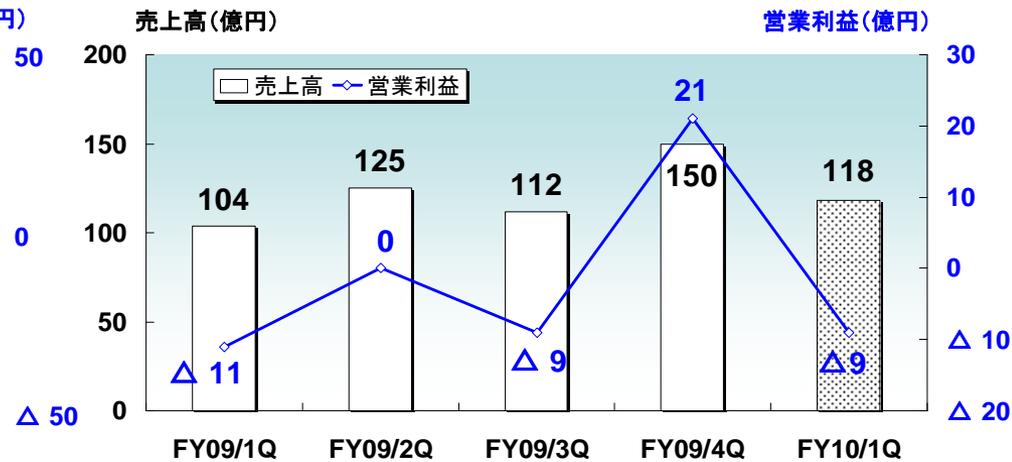
[連 結]		2010年3月期			2011年3月期					
		第1四半期	第2四半期 累 計	通期	第1四半期		第2四半期累計		通期	
		実績	実績	実績	実績	前 年 同期比 (%)	見込	前 年 同期比 (%)	見込	前年度比 (%)
売上高	ポジショニング	10,479	22,997	49,350	11,817	112.8%	25,000	108.7%	52,000	105.4%
	アイケア	7,188	14,929	31,561	6,794	94.5%	16,000	107.2%	34,000	107.7%
	ファインテック	2,444	5,411	13,950	3,338	136.6%	7,000	129.4%	18,000	129.0%
	合計	20,112	43,338	94,862	21,950	109.1%	48,000	110.8%	104,000	109.6%
営業利益	ポジショニング	△1,177	△1,173	6	△910	-%	△200	-%	500	-%
	アイケア	57	326	1,963	△301	-%	600	184.0%	2,000	101.9%
	ファインテック	△738	△990	△564	△371	-%	△400	-%	200	-%
	合計	△1,858	△1,836	1,405	△1,584	-%	0	-%	2,700	192.2%

# 2. 四半期別業績推移

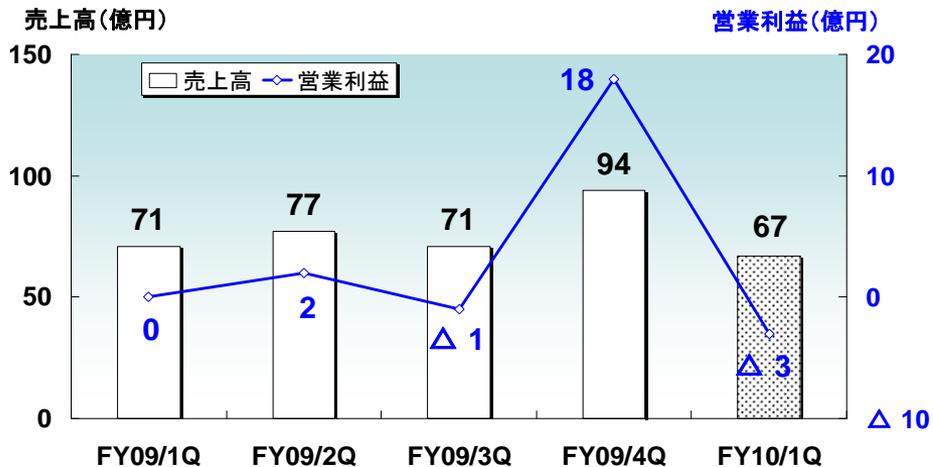
## 1. 全社



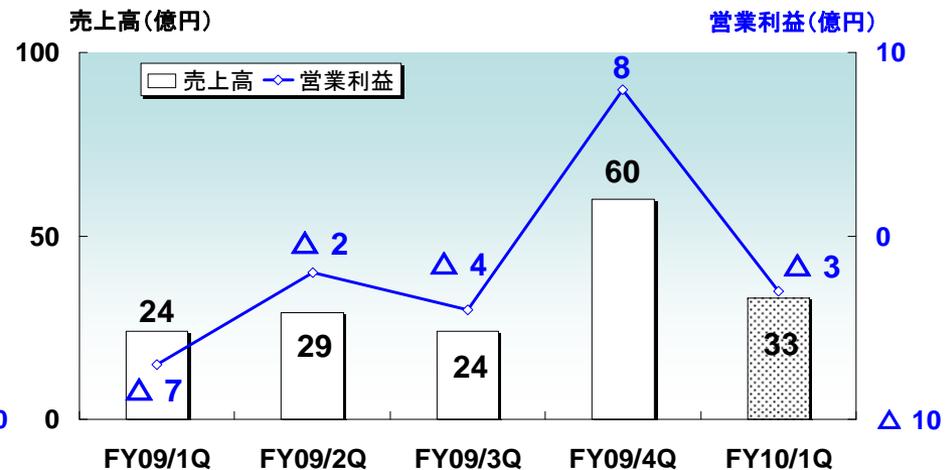
## 2. ポジショニング



## 3. アイケア



## 4. ファインテック



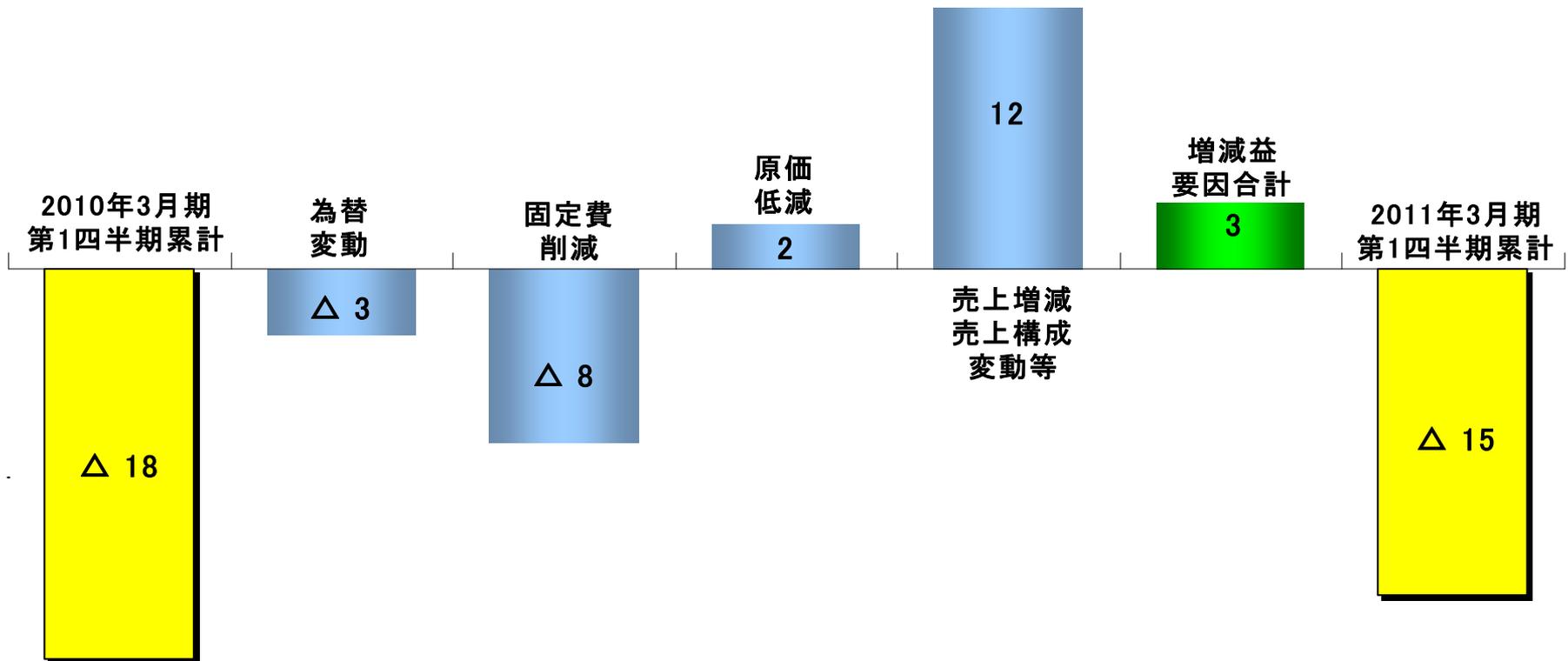
# 3. 「営業利益」増減益要因分析(前年同期比)

[連結]

(符号は損益ベース)

( 2010年3月期  
第1四半期累計 ) → ( 2011年3月期  
第1四半期累計 )

(単位:億円)



# 4. 成長戦略の進捗状況

## 1. 全体

### 第1四半期の状況

- 新興国は拡大基調、米国・日本は回復基調、欧州は依然低迷が継続

### 第2四半期以降の注力事項

- 新事業・新分野に注力、新興国・低価格市場攻略により計画達成を目指す

## 2. ポジショニング

### 第1四半期の状況

- 新興国は堅調、米国・日本の改善により欧州の低迷あるも売上は伸長
- 営業利益はマイナスであるも売上増により改善傾向

### 第2四半期以降の注力事項

- 新興国市場(中国、インド、中東、アフリカ)での販売体制構築、強化
- 農業、移動体及び計測等の成長事業強化、ソキア統合の加速

# 4. 成長戦略の進捗状況

## 3. アイケア

### 第1四半期の状況

- 新興国は堅調、米国は回復基調ながら欧州の低迷により売上低迷
- 事業環境の回復遅れ、為替の影響により営業利益はマイナス

### 第2四半期以降の注力事項

- OCTの収益性改善、ソフト充実(緑内障等)による一般開業医層への販売拡大
- ITソリューションビジネスの拡大、治療器等の成長事業強化、新興国市場への販売拡大

## 4. ファインテック

### 第1四半期の状況

- アジアを中心とした半導体、電気計測等の事業環境好転により売上は改善

### 第2四半期以降の注力事項

- LED関連製品、サブストレート製品等の成長事業強化、事業構造改革推進

# 5. 事業構造改革の推進

★ 固定費削減(更なる推進)

★ 事業の選択と集中

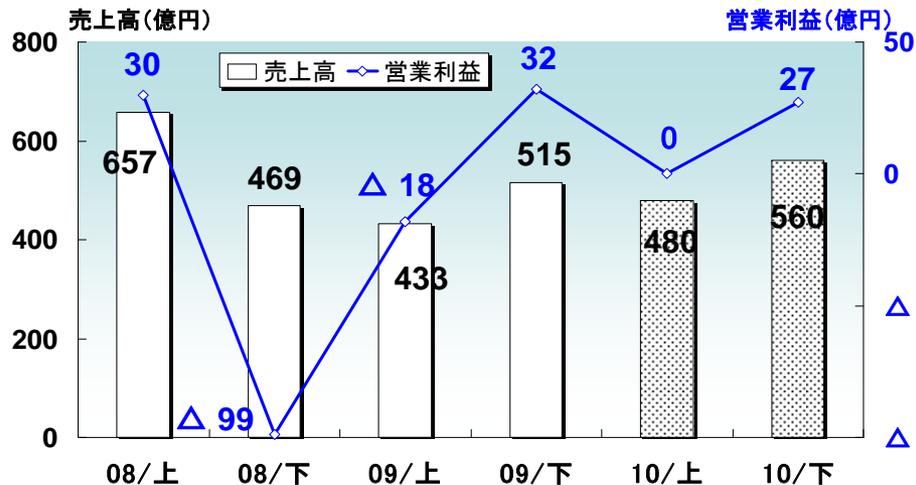
★ グローバル新事業の創出

★ グローバル最適生産体制、グローバル調達体制の構築

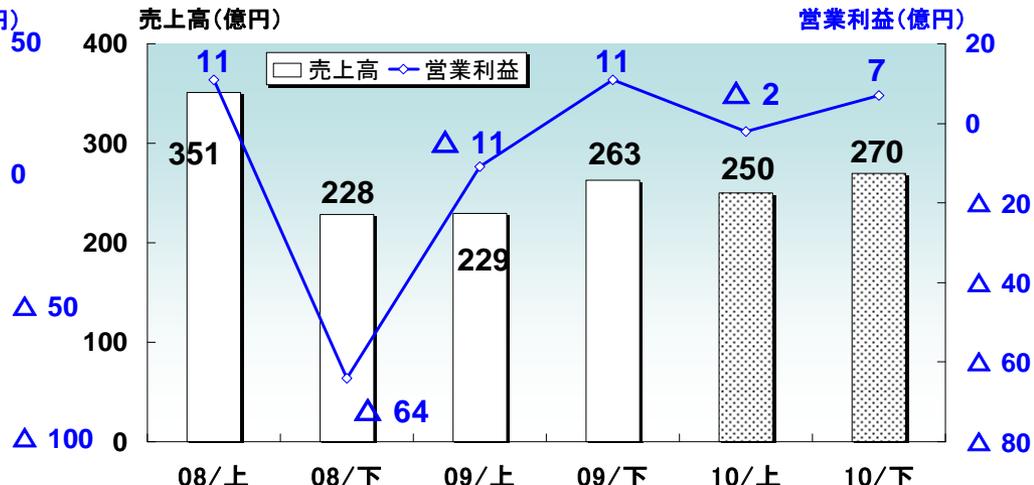
★ 業務プロセス改革(品質向上、開発効率向上)

# 6. 半期別業績推移

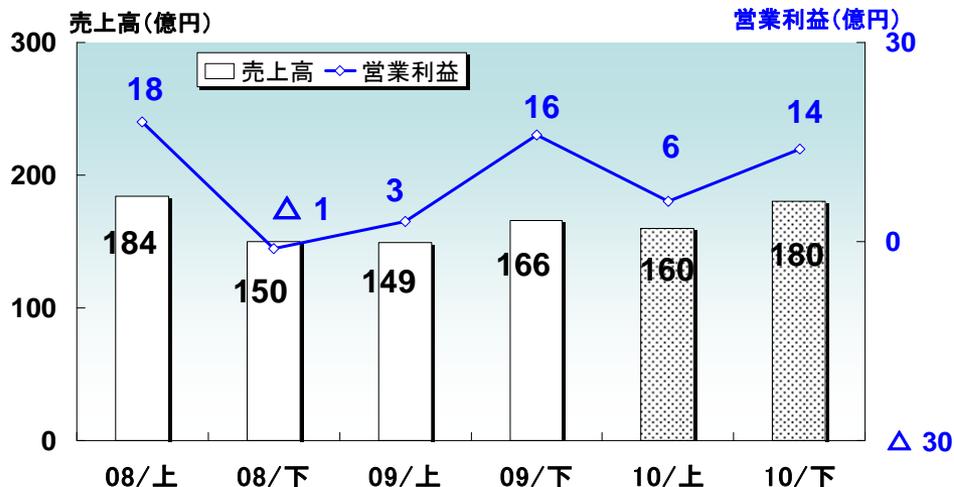
## 1. 全社



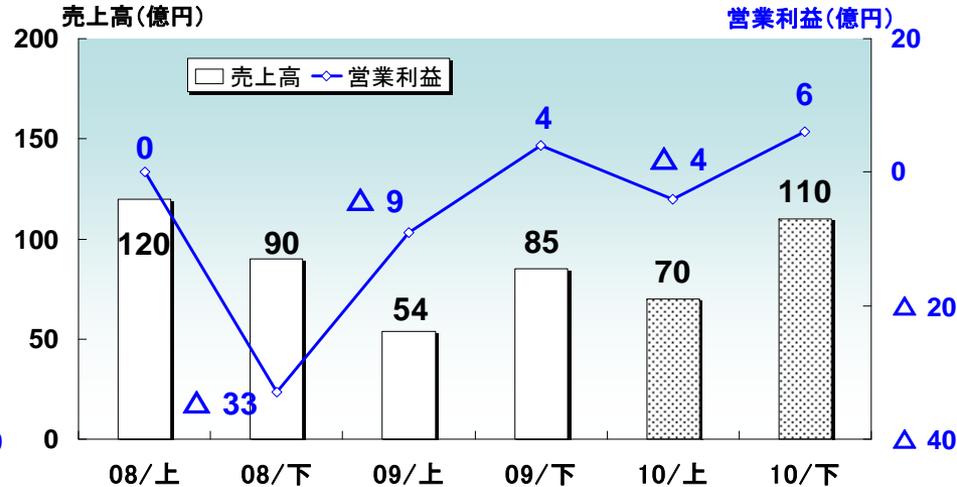
## 2. ポジショニング



## 3. アイケア



## 4. ファインテック



# 当資料取扱上のご注意

本資料に記載の業績見通し、並びに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき、計画のもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております。

実際の業績は、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、これらの業績見通しとは異なる場合がございますので、ご承知おきいただきます様、お願い申し上げます。

お問い合わせ先

(株)トプコン 経理グループ 広報・IR部まで

TEL: (03) 3558-2532

E-mail: [investor\\_info@topcon.co.jp](mailto:investor_info@topcon.co.jp)

URL: <http://www.topcon.co.jp>